

# 九州産業大学多要素認証利用マニュアル

## (教職員用)



多要素認証システムとはアクセス権限を得るのに必要な本人確認のための複数の種類の要素をユーザーに要求する認証方式です。今回導入のシステムは、二要素認証システムとなります。



4 版 2024.05.13



## CONTENTS

1. 多要素認証システムについて	P. 2
2. 事前準備 Extra Console へのアクセスおよびサインイン	P. 2
3. 事前準備 その2 多要素認証の設定（教職員のみ）	P. 3
4. 多要素認証システムの利用方法	P. 6

## はじめに

多要素認証は学外からのシステムログイン時に使用し、シングルサインオンシステムによって提供されます。

1 要素目は「ID+パスワード認証」で、2 要素目は「ワンタイムトークン認証」または「メールトークン認証」です。

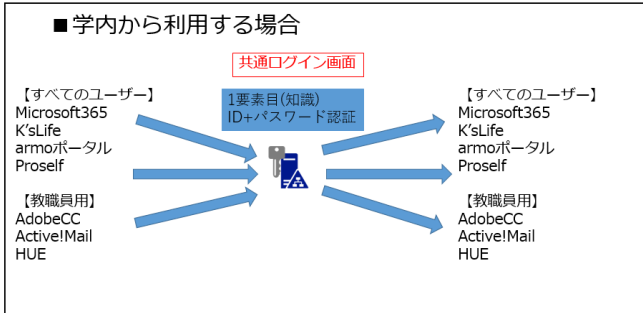
利用するアプリケーションは以下の通りです。

・ Microsoft365 ・ K'sLife ・ Proself ・ AdobeCC ・ Active!Mail ・ HUE



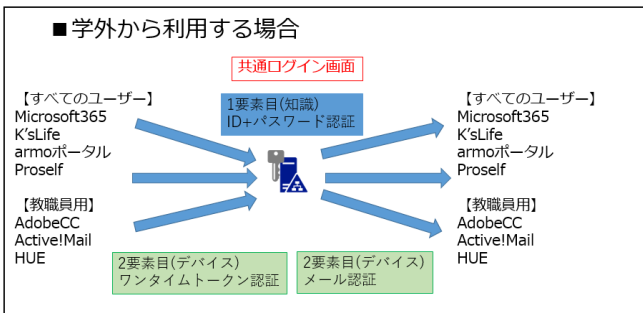
## 1. 多要素認証システムについて

多要素認証システムはシングルサインオンシステムによって提供されます。



### ■学内から利用する場合

1要素目 ID+パスワード



### ■学外から利用する場合

1要素目 ID+パスワード

2要素目 ワンタイムトークン認証 または  
メールトークン認証

2要素目で必要となるセキュリティコード発行にあたって、ワンタイムトークン認証では認証アプリケーション「Microsoft Authenticator」を、メールトークン認証では登録されたメールアドレスを使用します。いずれも、使用にあたっては、アプリケーションやメールアドレスの事前登録が必要です。

**2要素目の登録方法については、次節から説明します。詳しくは、「統合認証システム(ExtraConsole)利用者マニュアル」4ページ目以降をご確認ください。**

## 2. 事前準備

### Extra Console へのアクセスおよびサインイン



(1)パソコンのブラウザで、Extra Console ページにアクセスしてください。

URL: <https://idm-pw.ip.kyusan-u.ac.jp>



(2)ユーザーID(メールアドレスの@の前の部分)、パスワード、画像コードを入力し、ログインをクリックしてください。



メニューページが開きます。セキュリティ設定変更をクリックしてコードを入力します。



### 3. 事前準備 その2 多要素認証の設定（教職員のみ）

教職員が学外からアクセスする時には多要素認証が必須となります。

（多要素認証機能でのアクセス方法の詳細については、マニュアル「九州産業大学多要素認証利用マニュアル（教職員用）」をご確認ください。）

認証方法は、**メールを使う方法**と**アプリケーションを使う方法**の2種類があります。

メールを使う方法とアプリケーションを使う方法のいずれか、もしくは両方の登録が可能です。

登録は、「セキュリティ設定変更」画面で実施します。

以下では、認証のための登録方法を説明します。

#### 3-1. メールでの登録方法



(1) セキュリティ設定変更画面で、「個人メールアドレス利用者区分」にメールアドレスを入力し、「送信チェック」ボタンをクリックして、正しくメールが届くかどうかを確認してください。

**登録するメールアドレスには、大学のメールアドレスは利用できません。以下のような、大学以外のアドレスを登録してください。**

- ・○○○@docomo.ne.jp などの携帯メールアドレス
  - ・○○○@gmail.com などのフリーメールアドレス
- ※携帯メールで着信拒否を設定している場合、@kyusan-u.ac.jp からの着信許可を設定してください。



上記メールが[idmadmin@kyusan-u.ac.jp]から送信されます。



(2)メールが届いたのが確認できましたら「変更」ボタンを押して、設定を保存してください。

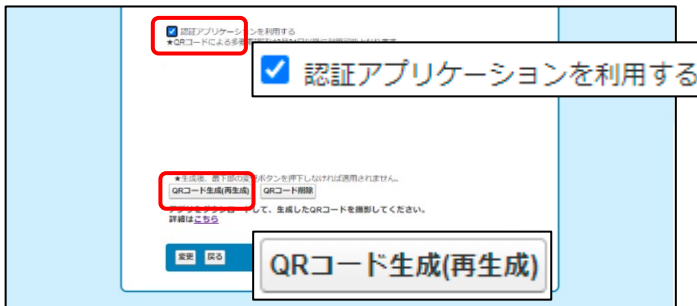
#### 3-2. アプリケーションでの登録方法



**(1)認証アプリケーションを利用するにあたって、個人メールアドレスの登録が必須となります。まだ未登録の場合は、お手順書3ページ「3-1. メールでの登録方法」に従って、メールアドレスを登録してください。**



(2) 「認証アプリケーションを利用する」のチェックボックスにチェックを付けてください。



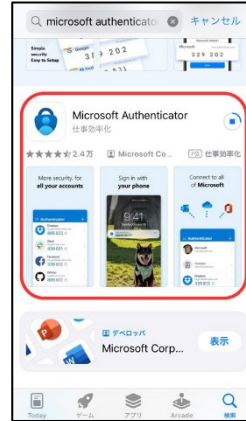
(3) 「QRコードを生成 (再生成)」 ボタンをクリックしてください。



(4) QRコードが作成されます。

このまま、画面を閉じないでください。

QRコードの読み取りには、スマートフォンアプリケーション「Microsoft Authenticator」が必要です。以下で、このアプリケーションのインストール方法を説明します。



(5) 「App Store」もしくは「Google Play」で「Microsoft Authenticator」を検索し、インストールしてください。(アプリは無料です。)



(6) インストールが完了したら、アプリの「開く」をタップしてください。





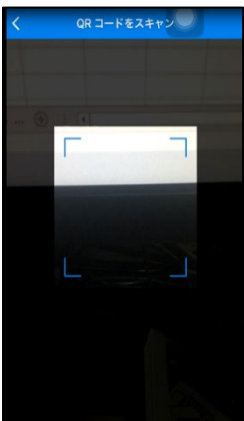
(7)画像の画面で「承諾する」→「続行」をタップしてください。



(8)「QRコードをスキャンします」をタップしてください。



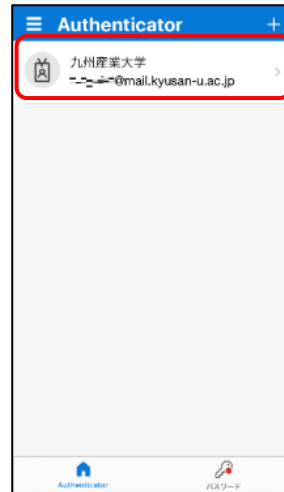
(9)「“Authenticator”がカメラへのアクセスを求めています」と表示されるので「許可」をタップしてください。



QRコード読み取り画面が表示されます。



(10)QRコードをスマートフォンで読み取ってください。



(11)スキャンをすると、スマートフォンで自分のアカウントが追加されます。表示された自分のアカウントをタップしてください。



以上でワンタイムパスワードが発行され、多要素認証の時にお使いいただけます。

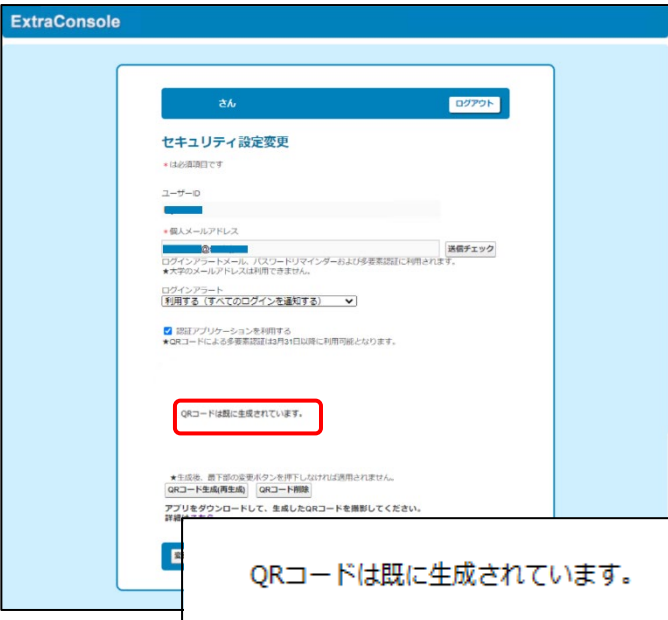


※QRコードの再生成を実行しない限りは、改めてExtraConsole上のQRコードを撮影し直す必要はありません。



(12)ExtraConsole画面で、「変更」ボタンを押して、設定を保存してください。

**この認証アプリケーションを利用するにあたって、個人メールアドレスの登録が必須となります。登録されていない場合は、当手順書3ページ「3-1. メールでの登録方法」に従って、メールアドレスを登録してください。**

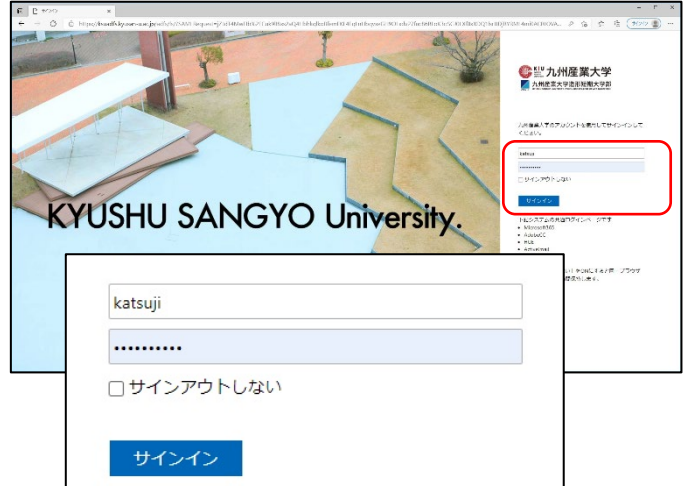


QRコードは既に生成されています。

**注意：セキュリティ設定変更画面に再度アクセスすると、QRコードは非表示となります。QRコードを登録していなかった場合は、再生成し直す必要があります。**

#### 4. 多要素認証システムの利用方法

ログインの1要素目の、ID+パスワードでのサインイン方法について説明します。



アプリケーションを開き、ID（メールアドレスの@の前の部分）とパスワードを入力して、「サインイン」をクリックしてください。



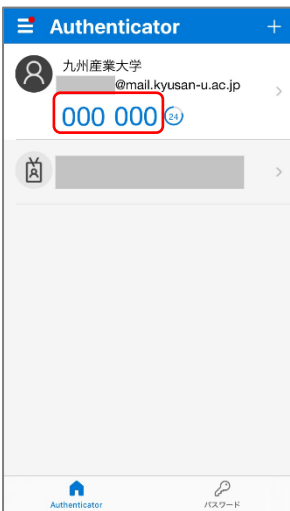
セキュリティコードの確認方法の選択画面が開きます。  
・「認証アプリケーションを使用する」  
・「メールを受信する」（事前にメール設定した場合に表示）  
の2つがあり、いずれかを選択してサインインします。  
以下で、それぞれの方法について説明致します。



### 4-1. 認証アプリケーションを使用する場合



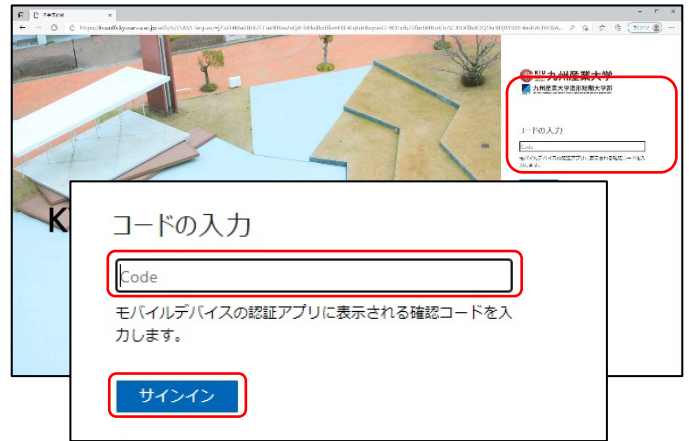
(1) セキュリティコードの確認方法の選択画面で、「認証アプリケーションを使用する」を選択して「コードの送信」をクリックしてください。



(2) 認証アプリ Microsoft Authenticator を開き、セキュリティコードを確認してください。

**「3桁の数値 空白 3桁の数値」が表示されますが、真ん中の空白は無視して、6桁の数値を入力してください。**

セキュリティコードの有効期限は、発行されてから 30 秒です。残り時間がセキュリティコードの横に表示されています。



(3) 先ほど確認したセキュリティコードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックしてください。

以上でアプリケーションが利用できます。

### 4-2. メールを受信する場合



(1) セキュリティコードの確認方法の選択画面で、「メールを受信する」を選択して「コードの送信」をクリックしてください。

セキュリティコードがメールで送信されます。



(2) メールを開いてセキュリティコードを確認してください。



(3) 先ほど確認したセキュリティコードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックしてください。  
以上でアプリケーションが利用できます。

※セキュリティコードの有効時間は30秒です。  
これを過ぎたら、コードが無効になります。再度メールが送られてきますので、新しいコードを確認して入力し直してください。